

広島県中小企業団体中央会 2019年3月分情報連絡一覧表

食料品

●食料品

中国醤油醸造協同組合

3月の出荷量は前月比5.0%増加、前年同月比1.5%増加となり、売上高は前月比4.4%増加、前年同月比0.1%増加となった。

平成30年度の出荷量の前年度比は6.9%増加となった。

木材・木製品

●木材・木製品

広島県北部国産材加工協同組合

製材品の在庫が増え、相場は横ばいから下落傾向にある。

大型連休を控え、駆け込みの荷動きがあるのではないかと期待している。

製材品向け丸太は過剰となり、相場も硬化している。

広島県木材協同組合連合会

<全国>

- ・平成31年2月の全国の住宅着工戸数は71,966戸で前年同月比4.2%増加
- ・季節調整済年率換算値では96.7万戸(前月比10.9%増加)
- ・利用関係別では、持家は21,992戸で前年同月比9.9%増加、貸家は27,921戸で前年同月比5.1%減少
- ・分譲住宅は21,190戸で前年同月比11.4%増加
- ・木造住宅の着工数は40,000戸で前年同月比4.3%増加となった
- ・住宅着工の動向については、前年同月比で3ヵ月連続の増加となった

<広島>

- ・広島県内の2月の着工戸数は1,706戸で前年比14.3%増加、このうち持家は427戸で6.5%増加、貸家は578戸で前年比5.4%減少、分譲は499戸で前年比4.2%増加
- ・県全体の住宅着工動向は前年同月比で6ヵ月振りの増加となった
- ・地域別では福山市が着工戸数337戸で19.1%増加、大竹市が218戸で560.6%増加、呉市が82戸で86.4%増加の一方、広島市が594戸と21.6%減少、東広島市が99戸で27.7%減少、廿日市市が52戸で16.1%減少と地域ごとにばらつきがある
- ・消費税引き上げを控えた駆け込みの影響や非住宅分野の木造建築への期待もあるが、年度末納期で繁忙期が重なり、大工職人の不足は深刻である。

福山木材協同組合

連休の影響で、納材の遅れなど現場が混乱することが予想される。

印刷

●出版・印刷・同関連

広島県印刷工業組合

今年に入り、用紙の品薄状態が厳しくなり、紙の手配が心配な状況が続いている。

年度末を迎え、印刷業界は繁忙期で多忙を極めているが、用紙不足と後加工、特に製本工程の手配がつきにくいため、前々から調整しつつ進めている状況である。

業界においては、人手不足や人材の定着率の低下など課題は多い。

化学・ゴム

●工業用ゴム製品

中国ゴム工業協同組合

先月から大きな変化はないものの、第3から第4四半期にかけては仕事量の見込みが読みにくい状況であった。

働き方改革への対応が求められる中、生産性向上が追いついていない。設備投資予算にも制約がある中で、品質の安定に努めなければならない状況は悩ましい。

●プラスチック製品製造業

広島県プラスチック工業会

自動車関連の売上は順調に推移している。全体的にも売上は現状を維持している。

今年は不安定要因が多く、先行きが懸念される。

窯業・土石製品

●窯業・土石製品

広島地区生コンクリート協同組合

出荷状況(24工場)

31年3月 3,296m³ (前年比4.40%増加)

31年2月 2,771m³

30年3月 3,157m³

※平成30年度総出荷対前年度比10.9%減少
(鉄鋼・金属製品)

●鉄鋼業

鋼鉄協同組合連合会

3月末で廃業により組合員が1名減少した。
引き続き貸し倉庫などで引き合いがある。

一般機器

●一般機械器具

広島県東部機械金属工業協同組合

今月の売上は、年度末のため前月比45.0%増加、前年同月比変化なしとなった。業界全体としては全体的に例年並みで推移している。

出島工業会協同組合

先月同様、今月も特に大きな変化はない。
組合においては、役員の高齢化が進み、世代交代が課題である。

電気機器

●電気機械器具

広島県東部機械金属工業協同組合（電気機械器具）

今月の売上は、輸出の受注が減少傾向にあることと、国内の装置向け部品が低調であったが、前年同月比、前月比ともに特に大きな変化はない。

人を募集しても集まらない。残業規制を望んでいない労働者もいるため、残業規制への対応に苦慮しそうである。

働き方改革を推進するのであれば中小企業の生産性向上、合理化に対し補助金等による支援をお願いしたい。

取引先からはコストダウン要請があるが、人件費の上昇を吸収しきれない状況にある。

輸送用機器

●輸送用機械器具（自動車）

東友会協同組合

組合員の業況は、ビジネス依存度の高い主要顧客（マツダ）の下記業況に比例している。

- ・3月の国内自動車販売台数は全需が641千台、前年同月比4.0%減少と3ヶ月振りの前年割れ。登録車は前年同月比4.7%減少と3ヶ月振りの前年割れ、軽自動車も前年同月比で2.5%減少と9ヶ月振りの前年割れ。マツダ車も18.3%減少と2ヶ月振りの前年割れ
- ・アメリカの2月の全需は1,265千台で前年同月比2.8%減少と3ヶ月振りの前年割れ。マツダ車は同7.3%減少と8ヶ月連続の前年割れ
- ・欧州の2月の全需は1,274千台で、前年同月比3.6%減少と6ヶ月連続の前年割れ。マツダ車も同4.6%減少と2ヶ月連続の前年割れ
- ・中国の2月の全需は1,582千台で、前年同月比7.9%減少。マツダ車は同42.5%減少と10ヶ月連続の前年割れ
- ・上記各地域の状況下、マツダ車の2月の海外販売合計台数は94千台、前年同月比12.8%減少と6ヶ月連続の前年割れ
- ・マツダの2月の輸出動向については、輸出台数は前年比15.6%増加と2ヶ月連続の前年超え
- ・マツダの2月の国内生産台数は、前年同月比4.7%増加と5ヶ月連続の前年超え

●輸送用機械器具（造船）

中国地区造船協議会

県内2,500総トン以上の平成31年3月の船舶建造許可実績は8隻420,100総トン(前月2隻203,700総トン、前年同月7隻302,300総トン)であった。なお、内訳は全てが輸出船で、このうち貨物船が6隻、油槽船が2隻であった。

(一社)中国小型船舶工業会

中小造船業については、前月と大きな変化はない。

卸売業

●卸売業（総合）

協同組合広島総合卸センター

売上は横ばいで推移している。人件費、物流費は高止まり、燃料費は上昇傾向にあるため、収益面は前年同月比で悪化している。

「資材関連」においては、公共工事、新設住宅着工戸数は前月比、前年同月比では横ばいで、収益状況は前年同月比並みで推移している。

「雑貨」においては、メーカー等からの値上げ要請もあり、得意先への価格転嫁にはタイムラグもあり、苦戦している。

「食品」においては、得意先（販売先）の廃業や集約、食料品の値上げの影響もあり今後業績が厳しく

なる見通しである。

「繊維」においては、物流のコストアップ、従業員の高齢化に少人数経営では十分な対応策が見いだせず、対応が後手となり厳しい状況が続いている。

最低賃金の上昇や近隣商業施設との人材獲得競争により、中小企業は賃金コストが上昇し、人手不足感も継続している。また、人手不足から新たな仕事を受け入れない事態も発生している。従業員は高齢化しているが、将来の見通しが持てないため人員の補充ができない状況である。

足もとの売上は横ばいであるが、人件費、配送費、燃料費が上昇傾向にあるため、収益は悪化している。

●卸売業（電設資材）

広島県電設資材卸業協同組合

県内の1月の住宅着工状況は前年比1.6%減少となった。内訳として持家は1.8%減少、分譲は9.1%減少、貸家は6.9%増加と全体としては減少した。

来季に向けては、民間設備投資が中心になると思われる。

●卸売業（家具）

リビズ株式会社

今月は店舗売却による閉店により1会員脱退した。

●卸売業（畳・敷物）

広島県藁製品商業協同組合

国産畳表の取引状況は、各地で製織はフル稼働しているが、消費・販売は弱含みで推移している。

新草は、5月初旬には先刈の時期に入ることや梅雨時期には畳表の製織を控えるため、現在フル稼働生産の状況にある。また、販路拡大に向け各地で展示会やイベントの開催が全国の卸店や畳店主催で開催され、売上に貢献している。

中国産のい草・畳表についても市場の動向を見極めながらの輸入、販売体制をとっている模様である。販売取扱量は相対的に前年比減少している。

エンドユーザーに対し、天然畳表の良さを消費喚起することが課題である。

小売業

●各種商品小売業

広島生鮮三品連絡協議会

鮮魚小売は入荷が少なく、相場高が続いている。さらに、物流費の値上げを養殖魚の価格に転嫁できない状況となり、収益悪化が懸念される。

青果小売は価格が持ち直してきているが入荷が少なく、需要の回復は先になりそうである。

生鮮業界全体に不況感が根付いているが、大手量販店は売上高を維持しており、中小小売との格差が感じられる。

協同組合三次ショッピングセンター

人手不足により適正人員での営業が出来ない状況が発生しており、店舗の休業や営業時間短縮を余儀なくされている。

●家庭用電気機械器具小売

広島県電器商業組合

今月の販売実績は前年同月比4.2%減少となった。商品別では、薄型テレビ前年同月比2.8%減少、冷蔵庫同0.9%減少、洗濯機同4.2%減少、IHクッキングヒーター同2.9%減少、電気温水器同8.4%増加、エアコン同10.8%増加となった。

●その他の小売業（燃料）

広島県石油商業組合

平成30年7月豪雨の影響が依然として続いている。通行止めや交互通行による復旧工事が続けられているため、販売量が通常の7割に落ち込んでいる店舗も見られる。

商店街

●商店街（各種商品小売業）

呉本通商店街振興組合

一昨年閉店した食品小売店跡地に弁当小売店が開店した。本通商店街と中通商店街をつなぐパルス通り商店街で長年営業していたためがねの田中チェーンが移転のため今月閉店する。

老舗呉服店の廃業に伴い組合員が1名減少した。

サービス業

●自動車整備業

広島市自動車整備団地協同組合

車検台数は前月比8.1%増加、前年同月比0.9%増加。車検場収入は前月比8.2%増加、前年同月比0.7%増加。重量税・登録印紙の売上は前月比28.9%増加、前年比0.8%減少となっている。

平成30年度は、車検台数は前年比2.3%増加、車検場収入は2.8%増加となった。重量税、登録印紙の売上は1.8%増加となった。

●広告業

広島県広告美術協同組合連合会

今月の売上は、年度末により前月比増加となった。改元の影響は特にない。大型連休に伴う売上の減少が予想される。

主力商品のLEDが廃番により値上げされるため、材料費の高騰が懸念される。

引き続き人手不足が課題である。

●警備業

広島県警備業協同組合

人手不足が続いている。

建設業

●工事業

福山地区電気工事業協同組合

今月の工事受付件数は、前月比15.2%増加、前年同月比11.9%減少となった。電気工事作業従事者（特に若手人材）が不足しているため、電気工事業界が停滞しているように感じられる。国等へも人手不足に向けた対策をお願いしたい。

大手工場の電気設備メンテナンス作業の注文が入っても作業員不足で仕事を断らざるを得ない状況である。

広島県室内装飾事業協同組合

カーテン、敷物、壁装クロスの3品目について、今月は前月比3.2%増加、前年同月比15.3%減少、前年度累計費は3.9%減少、また前々年度累計比17.8%減少と2年連続の下落となった。

慢性的な労働力不足で組合員は多忙であるが、物件数的にはゆるやかに下降し、また資材値上げと元請契約価格の下落により利益確保は困難となる見込みである。

運輸業

●道路貨物運送業

協同組合尾道地区総合トラックセンター

今月は年度末ということもあり、荷動きは好調に推移した。一方燃料価格は2月から引き続き値上がりしており、4月も上昇基調である。

広島輸送ターミナル協同組合

今月は繁忙期であったが、引っ越しは時期の分散が浸透し昨年ほどの混乱はなかった。運賃は上昇しているが、慢性的なドライバー不足と労働時間の短縮により稼働率は下がり、収益は悪化した。また、燃料価格の上昇も収益悪化の要因となった。

松永地区トラック事業協同組合

今月の売上高は、前月比大きな変化はない。前年同月比では減少となった。しかし、土木関連輸送は昨年7月の豪雨災害以降はかなり引き合いがある上、年度末に公共工事等が集中し、車両が不足した。一般貨物は期末にもかかわらず荷動きが悪く、例年であれば荷主からの要請があっても仕事を断らざるを得ない状況であったが、今年はその現象は見られなかった。しかし、慢性的にドライバー不足は依然続いており、4月からの働き方改革関連法への対応に不安を抱く組合員もいる。

水運業

全国内航タンカー海運組合中国支部

船員の高齢化が進んでいると同時に若年船員が育っていないため、船員不足である。

その他

●不動産業

広島県不動産評価システム協同組合

前月比は先月同様、年度末の一般評価があった分、特に大きな変化はない。前年同月比も特に変化はない。

4月は公的評価報酬の入金があり、業況は好転することが予想される。

都心部の土地需要は、供給土地の減少に伴い高値安定で推移している。